

2012-08-15(水)

■竹の道具を買う前に使ってみる

趣味の弓道で仲間が竹の弓を貸してくれたので使ってみた。

竹弓は6万円くらいするのでそう簡単には買えない。年齢や性別、各自の体力に合った強さの弓が必要で、弓道を何年も続けている人は弓を2〜3本持っている。もう使わない竹弓を使ってみて良ければ、安く譲ってくれるという人がいた。

弓の種類にはカーボン弓や、グラスファイバー弓と竹弓がある。カーボンやグラスファイバーなど合成の弓は変形しないので扱いやすく、初心者向き。一方、竹弓は自然素材なので、使い込むことで良くも悪くも変化する。

私はグラスファイバーの弓を使っている。長年稽古を続けている一定のレベル以上の人達は竹弓を使っている。私もそろそろ竹弓が欲しい。

借りた竹弓を使ってみると、竹の特徴が良く分かる。弓の長さは221cm、竹には節があって曲げればしなるねじれる。気を付けなければ折れる。自然素材の道具を使うということは、その素材と向き合うということ。

竹弓を使いこなせるようになるには時間が掛かりそうだけど、譲ってもらおうかな。

(アラサー女子)